



となみひがし

国道359号砺波東バイパス

令和元年12月7日(土)に全線開通します

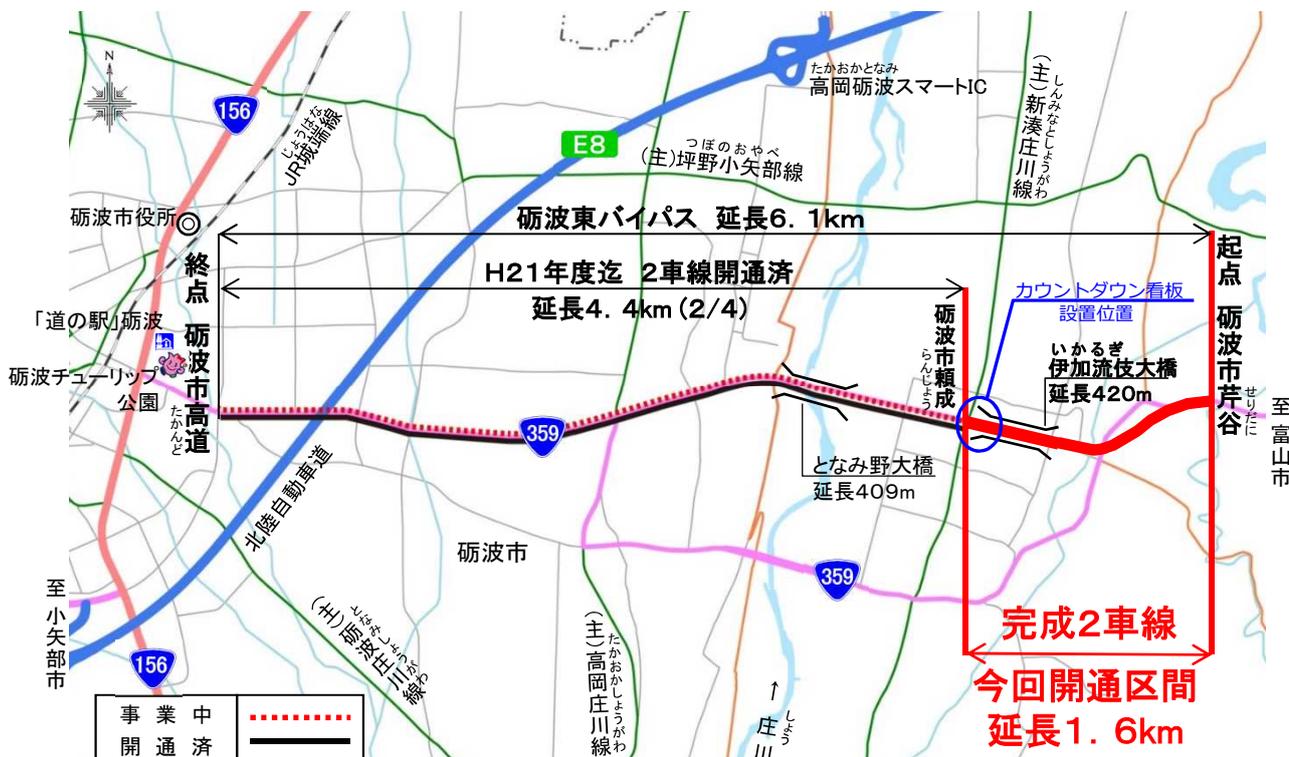
- 令和元年12月7日に砺波東バイパスの砺波市頼成～芹谷間(延長1.6km)を開通し、砺波東バイパス(全線延長6.1km)が全線開通します
- 開通時間や開通式典の詳細については、後日お知らせします
- また、本日より開通日を周知するカウントダウン看板を頼成地先に設置します

開通による主な整備効果

- 【効果①】 地域の安心と快適な走行を確保します
- 【効果②】 観光振興を後押しします
- 【効果③】 物流の効率化で企業活動を支援します



カウントダウン看板(イメージ)



お問い合わせ先



国土交通省 富山河川国道事務所 副所長 ますた すみお 増田 純夫

TEL:076-443-4701 (代表) FAX:076-443-4702

とやま おくだしんまち
 〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

砺波東バイパス開通による整備効果

効果②

観光振興を後押しします

- 富山県は、主要な観光地が点在しており、観光客の入込拠点となる主要駅や空港などから道路交通を利用して移動する必要があります。
- 今回の開通により、砺波方面から北陸新幹線富山駅、富山きときと空港などの入込拠点へのアクセス性が向上し、周遊観光ルートの形成促進など観光振興を後押しします。

富山県の主要観光地と周遊観光経路 (イメージ)



富山県観光の将来目標

基本目標 選ばれ続ける観光地富山
-「海のあるスイス」を目指して-

- 観光による経済波及の拡大
- 観光消費額 1,296億円
60%増 → 2,067億円
- 国内外から選ばれる観光地
- 延べ宿泊者数 3,489千人
50%以上増 → 5,200千人以上

出典：新・富山県観光振興戦略プラン (H28.3策定)



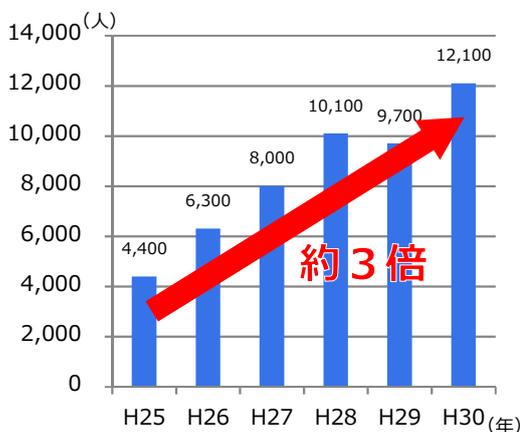
写真 砺波チューリップ公園



写真 チューリップ四季彩館

砺波市の観光

しきさいかん
チューリップ四季彩館 (台湾からの来場者数)



出典：R1.9 チューリップ四季彩館へのヒアリング調査

砺波チューリップ公園再整備計画

開園年度：昭和39年度
公園面積：約7.9ha

開園から55年が経過し、施設の老朽化が進行・サービスレベルの低下が顕著

⇒再整備計画として公園施設の改修、駐車場整備、周辺整備など約12億円を費やし、令和二年度の再整備完了を目指す。

砺波市では台湾での誘客に力を入れ、現地旅行代理店や行政機関への営業活動、台湾百貨店での観光PRなど、積極的な誘客キャンペーンを実施

出典：砺波市観光振興戦略プラン (2次)

砺波東バイパス開通による整備効果

効果③

物流の効率化で企業活動を支援します

- ・ 国道359号は、砺波市と富山市方面を結ぶ幹線道路です。周辺には太田工業団地が存在し、富山市方面の工場等へ製造品を運搬する際は、主に国道359号を通行しています。
- ・ 今回の開通により、急カーブ区間を解消し、冬期も大型車の走りやすい道路を確保することで円滑で安全な移動が可能となり、企業活動の効率化を支援します。

砺波東バイパス周辺の企業団地と大型車交通量



- ・ 国道359号に近接する太田工業団地内には砺波市の製造品出荷額上位の業種で、シェアトップ企業が複数立地
- ・ 富山市方面の工場等へ製造品を運搬する際は主に国道359号を利用

- 板ガラス加工業
曲げガラス全国シェア約7割
樹脂合わせガラス全国シェア約7割



曲げガラス加工

出典：北陸経済連合会『北陸のシェアトップ150』



樹脂合わせガラス

- 伸銅品製造業
カメラレンズ脱着部
世界シェア約9割



出典：北陸経済連合会『北陸のシェアトップ150』

現道の写真



写真①：急カーブで車線をはみ出して走行する大型車



写真②：冬期の大型車すれ違い状況

砺波東バイパスの概要

- ・ 砺波東バイパスは、砺波市芹谷～同市高道までの延長6.1kmの道路です。
- ・ 今までの開通済みに加え、今回の延長1.6kmが開通することにより、砺波東バイパスの全線が開通します。

区 間 : 富山県砺波市芹谷～同市高道
 今回開通区間
 [富山県砺波市芹谷～同市頼成]

延 長 : 6.1km (今回開通区間 1.6km)

車 線 数 : 完成2・4車線 (今回開通区間 完成2車線)

事業経緯 : H4年度 都市計画決定
 H9年度 事業化(直轄権限代行)・用地買収着手
 H10年度 工事着手



【標準横断面図】

(単位:m)

